

2003年10月28日(火)

自律新聞

第5号

飯島町・中川村・宮田村の自律を考える

テレビ取材の多いハチ博物館(中川村)

自律をめざす町村長の名言集 5

「社会というものは、2人以上の人間がお互いに協力し、助け、助けられつつ要領よく文明生活を送るためにできているわけあります。それが、人間が大勢集まって、大人數になれば協力が盛んになったり、団結が強固になるというものではありません。」

群馬県上野村長 黒澤 丈夫さん 注1

【きょうの疑問5】分権型合併への過剰な期待と落とし穴

地域審議会・まちづくり協議会の問題点

合併すると「住民の意見が施策に反映されにくくなる」という懸念や、「行政サービスが低下する」という懸念があるとして、この地域の任意合併協議会は「地域審議会」の設置をうたっています。これは合併特例法(「市町村の合併の特例に関する法律」)のことで、2005年3月31日までの期限付きで、合併を推進するための法律)に盛り込まれているものです。地域審議会の設置は、分権型合併(合併により集中化・巨大化する権限を、合併市町村内の地区で分割する)の手段として考えられているものです。

ところが合併特例法では、地域審議会について「合併市町村の長の諮問に応じて審議し又は必要と認める事項につき合併市町村の長に意見を述べる審議会を置くことができる」としているだけで、住民にとって本当に重要な課題が諮問される保障はありません。また、意見を述べるのであって、もちろん施策を決定する権限はありません。加えて、地域審議会と議会との関係や区・班・隣組との関係が曖昧で、新市の運営が混乱することも十分に考えられるのではないでしょうか。なお、人選の方法も明確になっていません。

さて、この地域審議会は、新市建設設計画(合併後、新しい計画が策定されるまでの間の、事業や財政の計画を盛り込んだ計画)の実施期間である5年から10年が適当とされており、その期限になれば廃止されます。そこで任意合併協議会では、並行して「まちづくり協議会」の設置を進め、地域審議会が廃止された後に、その機能を引き継ぐとしています。まちづくり協議会は複数区で構成し、本庁や総合支所との施策の協議を行うこととされていますが、これも住民との関係や議会との関係が曖昧で、どんなことを目的にして、何をする組織であるのかが不明確であると言わざるをえません。



新市の事務所と総合支所の問題点

住民の利用に最も便利であるなどの理由で、新市の事務所は駒ヶ根市役所に決定しました。駒ヶ根市役所は本庁となり、総務・企画・税務などの管理部門が置かれるとともに、産業振興・都市計画・議会などの調整が行われ、飯島町・中川村・宮田村の各町村役場は「総合支所」に格下げとなります。このような総合支所を配置したとしても、中枢機能が本庁に置かれていれば、重要な施策は本庁のお伺いを立てて決定しなければならなくなり、巨大化した行政機構が官僚化する可能性があります。もちろん、本庁と同様の機能を各支所で提供するようなことになれば、それなりの負担が必要になり、効率化どころではありません。

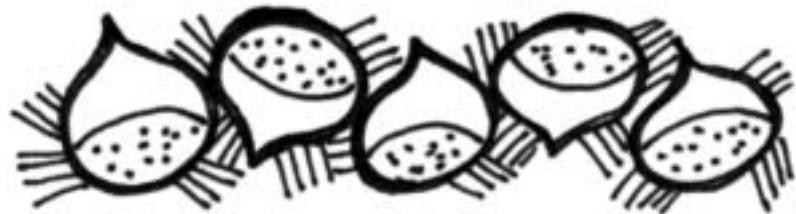
また、設置される支所が、将来にわたって維持される保障はありません。1956年に合併した飯島町と七久保村は、合併とともに旧七久保村役場に支所を置き、「戸籍、住民登録、軽易なる諸証明、税の収納、国保、診療所、その他の窓口事務を行う」などの協定を結んでいましたが²、建物の老朽化により1985年に七久保林業センターへ移転。それにともなって、開所時間が朝9時から12時半までに短縮され、職員は1人になり、業務内容は住民票と年金証明の扱いのみになってしまいます。その後、行政改革ということで、1998年に支所としての歴史に幕を閉じました。

合併により住民と行政・議会との関係が遠くなります

私達住民が首長や議会に及ぼす影響力は、合併により大幅に弱くなるものと考えられます。伊南4市町村が、車を利用して30分で行き来できる範囲だとしても、住民と行政・議会との政治的な距離は縮まりません。

例えば中川村の村民一人一人は、行政・議会に対して、5千人分の1の影響力をもっていますが、伊南4市町村が合併すると、村民一人当たりの影響力は6万人分の1となり、一人一人の行政・議会への影響力は確実に弱まることがあります。また、人口の少ない地区ほど議員が少なくなる可能性が高く、大きな旧市町村が政策決定に強い力を持つようになり、今まで町や村全体で取り組まれてきた課題が、大きな新市の中にある一地区の問題として扱われる可能性があります。前述した地域審議会・まちづくり協議会が機能するためには、新市の市長や議会のチェック機関としての機能が強化されなければなりません。

そもそも住民と行政・議会の距離が遠くなれば、サービスの向上や地方分権、住民参加は遠のくのではないかでしょうか。【裏面に別のコーナーがあります】



【わが町・わが村レポート5】中川村が合併したら 任意合併協議会の資料を読む

合併が中川村の過疎化に拍車をかける可能性がある

合併しても財政的に厳しいことがはっきりしてきました。特例措置が切れる頃になると、更なる合理化が進められ、大幅なサービスの低下につながる可能性もあります。中川地区にまわされる予算は限られたものとなり、過疎化が進む恐れがあります。高齢者や子ども、障害者など車を使えない住民には厳しい社会となります。

合併のモデルと言われる東京都あきる野市は、1995年に秋川市と五日市町が合併して誕生しました。ところが、集中的に投資された秋川地区とは対象的に、山間部を抱える旧五日市は衰退の一途をたどっています。一時、市庁舎として使われた旧役場の廃止や郵便局の移転、企業の出張所の撤退、市民憩いの家・勤労福祉会館の廃止、産業祭・映画祭が秋川地区へ変更されるなどの問題が起き、小学校の統廃合の話まで出ています。



役場が無くなるという大問題

中川村にとって役場は、基幹産業であると言っても過言ではありません。中川役場には97人の職員がいますが、役場が無くなると、今まで村内でまわっていたお金が大幅に減少します。中川支所に配置される職員数も期待できません。支所には中川地区に精通していない職員が配属される可能性もあります。いずれは支所が出張所に、そして廃止される可能性も十分に考えられます。

昭和の大合併の際に合併しなかった高知県馬路村は、ユズと森林資源を中心とした村づくりに取り組み、働く場所をつくり、働く世代(子ども)が村で暮らしています。一方、同じ県にある安芸市と合併した畠山地区は、子どもが一人もいなくなりました。

保育園・小中学校の統廃合

子どもの数が減っていく中で、人数の少ない中川の保育園、小中学校は将来的に統廃合される可能性もあります。遠くの学校まで子ども達を通わせなければなりません。子どものいる家庭にとって、学校のない地域は住みにくい場所です。

加えて、図書館・体育館・ホール・望岳荘などの老朽化などが進めば、効率化のために廃止されてしまうかもしれません。

合併のモデルと言われる兵庫県篠山市では、19あった小学校が13校になり、9つあった保育園が5園になってしまいました。

社会福祉はどうなる?

保健士の全国大会が毎年中川村で開催されています。中川村の保健士活動が全国的に高く評価されているからだそうです。社会福祉こそ地域にあった、きめ細かな施策が必要であり、それが実現できるのは、今の村の大きさが限界ではないでしょうか。

長野県山形村は昭和の大合併の際に、松本に合併しなかったため、役場職員が70人あり、保健士は5人います。この村は、老人医療費が県で下から3番目という成果を生んでいます。一方、合併した隣接地区は、出張所の正規職員が3人で、保健士は週1回まわってくるだけだそうです。

議員が減るということ

新市の議員定数は30人以内になる予定です。中川村から何人の議員を出せるのでしょうか。数人の議員で、この地域の要望がどれだけ通るでしょうか。大きくなった市の中で、他の地区の住民が、どれだけ中川のことを真剣に考えてくれるのでしょうか。

担当: 中川事務局

【注】

1=自治体問題研究所(編)『ここに自治の灯をもして 小さくとも輝く自治体フォーラム報告集』36頁,自治体研究社,2003年. 2=長野県総務部地方課(編)『長野県市町村合併誌(市町村編・上巻)』,長野県,1965年. 駒ヶ根市・飯島町・中川村・宮田村任意合併協議会『住民説明会資料 ふたつのアルプスが映える共生と創造のまち』2003年. 駒ヶ根市・飯島町・中川村・宮田村任意合併協議会の協議過程における各種資料.

お問い合わせ	賛助金のお願いについて	次号の予告
『市町村合併よりも自律の町村づくり』刊行委員会(〒399-4399 宮田郵便局私書箱1号) ・宮田事務局: 天野早人(- - -) ・中川事務局: 湯沢賢一(- - -) ・飯島事務局: 松村まゆみ(- - -) ・F A X:(- - -)	本紙は飯島町・中川村・宮田村の住民有志で発行しており、その趣旨にご賛同いただいた皆さまからの賛助金で支えられています。本会の研究活動と情報発信へのご理解ご協力ををお願い申し上げます。 八十二銀行 宮田支店 普通 156085 市町村合併よりも自立の村づくり刊行委員会	第6号(通常版)は明日 10月 29日(水)に発行します。 ・飯島町民が語る自律への思い 町民インタビューから(担当: 飯島事務局)